



刈谷市議会議長
外山 鉦一



謹賀新年



刈谷市長
稲垣 武



市民の皆さま、明けましておめでとうございます。
旧年中は、市議会に対する温かいご支援、ご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

通常の年ですと、晴れやかな新年を迎え、新たな希望を胸に抱き、力みなぎるときではございますが、新型コロナウイルス感染症に伴う不安感などにより、いつもとは異なる心境だと思われまます。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、1日でも早い収束と市民の皆さまの健康を願うばかりです。

さて、昨年は市制施行70周年を迎えた記念すべき年であり、本来であれば、様々な記念イベントが各地で開催され、地域の元気づくりや交流の輪が広がっていくところでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、それぞれ規模の縮小や中止を余儀なくされました。そのような状況下において、日本女性会議が初となるオンライン開催で成功を取めたように、新しい生活様式を実践した取組も増えてまいりました。

市議会といたしましても、新型コロナウイルス感染症対策支援本部を設置し、市長に対して要望・提言を行うことで、多くの施策の実現に繋げてまいりました。また、一般質問の持ち時間短縮や議会傍聴者の席の間隔を空けるなど、皆さまにはご不便やご迷惑をお掛けしましたが、感染症拡大防止に留意した議会運営に努めてまいりました。引き続き市と緊密な連携を図り、感染の拡大防止に力を尽くしつつ、適正な議会運営に取り組んでまいりたいと考えています。

結びに、市民の皆さまのご健康、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

明けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年4月に市制施行70周年を迎え、「あなたとともに70th つなげよう未来の刈谷へ」をキャッチフレーズとして、昨年11月には、男女共同参画社会の実現に向けた国内最大級の会議であります「日本女性会議2020あいち刈谷」を大会史上初のオンラインで開催しました。「かけがえない一人ひとりが大切にされる社会」の在り方を、世代を超えて多くの人と一緒に考えることができ、会議の結果を「大会宣言」にまとめ、「ものづくりのまち刈谷」から全国に発信することができました。

さて、昨年、私たちの生活は、新型コロナウイルス感染症の影響で、大きく変わりました。市民の皆さまには、長引く行動の自粛により、日常生活に様々なご不安やご不便を感じておられるかと思ひます。本市におきましても、市議会とも連携しながら、経済活動と感染拡大防止の両立に向けて全力を挙げ、市民の皆さまが安心して暮らしていただけるよう、強い危機感を持って、必要な策を講じてまいります。

今後は、ウィズコロナそしてアフターコロナの社会を見据えて、皆さまが安心して元気に住み続けられ、笑顔に満ちあふれ、未来へ希望が持てるよう、「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現を目指し、各種施策に取り組んでまいりますので、引き続き市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が、市民の皆さまにとりまして幸多き年となりますようお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

ミササガ市とミササガ市議会を代表して、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

長く豊かな姉妹都市の関係を築いてきたミササガ市と刈谷市は、今年で姉妹都市提携40周年を迎えます。これまでに両者は、お互いに素晴らしい成長と、今後も発展していくであろうより強い絆を結んできました。

昨年、稲垣市長にミササガ市へお越しいただき、とても素晴らしい出会いがありました。今後も稲垣市長と文化的・経済的な繋がりを強くすることについて話し合えることを楽しみにしています。

刈谷市の皆さまが実り多き新年を迎えられることを願っています。幸せと、繁栄と、そして健康に満ちた良いお年をお過ごしください。



ミササガ市長
ボニー・クロンビー